

生徒・保護者の皆さんへ

臨時休校にあたって

新学年が始まって、これから本格的に、と思っていた矢先の休校に戸惑っている人も多いと思います。しかし、今は新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大を防ぐために、この緊急事態宣言や臨時休校措置の趣旨を理解して、それぞれが自分を律した行動を望みます。2・3年生には始業式で話しましたが、コロナウイルスで混沌とした今こそ、安来高校の教育目標にある「きびしく・高く・美しく」の生き方を体現していくことが必要ではないでしょうか。今置かれている状況のなかで、皆がウイルスに打ち勝ち豊かに生きるために、また自分は何ができるかを考え将来の目標を高く見据えて、今何をなすべきか、なさざるべきかを考え、自らの行動を律することが求められているように思います。自分を守る、家族、地域、社会を守るためこの期間中の自覚した行動を望みます。

また勉強、部活動、進路などこれからどうなるのだろうかと多くの不安があることと思います。総体はどうなるか、入試はどうなるか等不安はつきないと思います。しかし、それを考えても今はまだ誰にも先が見えない状態です。ならば、今は自分にできることをする以外にないのではないのでしょうか。学習面では課題が出ています。それだけで満足せず、さらに「主体的」に学びに向かってください。例えば読書をしたり、苦手科目を中学校までさかのぼって復習したり、新聞のコラムや社説の要約文を書いて小論文などの対策をするなど、時間がたくさんあるこのときこそチャンスです。また部活動についても、アスリートたちがテレビやYouTubeなどで公開しているように自宅でできるトレーニングなど、いざ活動再開に向けて、やることはいくらでもあるはずです。ぜひ「ピンチはチャンス」ととらえて、自分を一回り成長させる期間として欲しいと思います。

坂村真民という人の詩を紹介しておきます。(坂村真民一日一言 致知出版社)

鈍刀をいくら磨いても 無駄なことだというが、
何もそんなことばに 耳を借す必要はない。
せっせと磨くのだ。
刀は光らないかもしれないが、 磨く本人が変わってくる。
つまり刀が すまぬすまぬと言いながら、
磨く本人を 光るものにしてくれるのだ。

臨時休校あけに、一回り成長した皆さんと会えることを期待しています。

最後に、保護者の皆様、お子様の様子をご覧になって、お気づきの点や心配な点がありましたら、学校の方まで遠慮なくご相談ください。

令和2年4月17日

校長 柳樂 眞悟